

様式第2号(第7条関係)

会議の開催結果

1 会議の名称	さいたま市総合振興計画審議会第3部会(第2回)
2 会議の開催日時	平成25年5月14日(火) 14時00分から16時15分まで
3 会議の開催場所	市民会館うらわ 6階603・605集会室
4 出席者名	審議会委員: 矢ヶ崎紀子部会長、中村仁副部会長、新井淑子委員、伊藤巖委員、木村通恵委員、佐藤美和委員、田中洋司委員、長野基委員、早坂源司委員 事務局: 江口明男、松井雅之、小島豪彦、松尾真介、富田昌洋、猪狩文康、南友和、鈴木慶一
5 議題及び公開又は非公開の別	議題 ・第1回部会の主な意見について ・分野別計画(素案)について(交流・コミュニティ) ・その他 公開又は非公開の別 公開
6 非公開の理由	—
7 傍聴者の数	0人
8 審議した内容	別紙、議事概要のとおり
9 問合せ先	政策局政策企画部企画調整課 電話番号 048-829-1035
10 その他	

さいたま市総合振興計画審議会第3部会（第2回）議事概要

第1回部会の主な意見について確認した後、分野別計画（素案）のうち、交流・コミュニティの分野について審議しました。

議題（1）第1回部会の主な意見について

事務局から、資料1に基づき第1回部会の主な意見について説明があり、確認しました。

議題（2）分野別計画（素案）について（交流・コミュニティ）

事務局から、資料2に基づき次について説明があり、施策ごとに審議しました。

- 施策1：人権尊重社会の実現
- 施策2：ふれあいのある地域社会の形成と活性化
- 施策3：多文化共生・世界に開かれた都市づくり
- （仮称）皆さんも取り組んでみませんか？

【主な意見】

- 施策1：人権尊重社会の実現

〈現況と課題〉

- ・資料説明の際に、現行基本計画から変わった点やその理由など1～2ページ程度にまとめて提示をお願いしたい。

〈成果目標〉

- ・「男女の地位が平等と感じる市民の割合」について、目標値はもっと高く良いと思う。達成するためには、現状を共有した上で、知恵を出し合うことが必要である。
- ・成果指標「男女の地位が平等と感じる市民の割合」の現状値について、男女別に示し、目標値についても男女別にすることがどうか検討してもらいたい。
- ・成果指標「人権が尊重されていると感じている市民の割合」について、人権とは何かは伝わっていないければアンケートの結果は高くなる可能性があるため、必ずしも現実を表しているとは言えないだろう。
- ・DVに関する調査結果などを活用しながら、DVに関する指標も盛り込んでどうか。

〈施策展開〉

- ・男女共同参画社会の実現のため、ワークライフバランスの視点を取り入れてはどうか。

- 施策2：ふれあいのある地域社会の形成と活性化について

〈現状と課題〉

- ・地域社会の衰退は「家庭内暴力、虐待、非行、ひきこもり、障害、孤立、環境保全」などの問題の深刻化を招くおそれがあるといった記述があるが、根拠となる数値を教えてください。

〈施策展開〉

- ・地域の絆や仲間づくりが声高に言われているが、例えば、公民館のあり方を変えるなど、地域活動の拠り所となるものを見直すべきではないか。
- ・中高年の拠り所づくりと地域活動を結び付け、活性化することが必要ではないか。さいたま都民と言われる都へ通勤・通学している市民の地域への愛着心を育てることが課題と痛感している。
- ・地域の人が新しいことをやりづらい雰囲気があると感じている。自治会とNPOでより良くしていければ良く、地域に新たな人や若い人が関わるきっかけとしてNPOからというのも一つの視点である。
- ・NPOは何かの特化した組織であるが、自治会はすべてに関係して、目立たないが縁の下の力持ちとして活動しているので、相容れないところもある。
- ・自治会への支援について、行政は、人は出さずにお金を出すという姿勢がある。補助金を出すというが、手続きが煩雑であるにもかかわらず、補助金の額は労力に見合うものではない。
- ・公民館はどこも予約で満室になっているので、自治会館を借りて若者などが新しい活動をできると良い。
- ・自治会館の使用については、自治会への加入を前提として、その上で様々な活動をする方が良い。
- ・公民館をコンピュータ上で予約する際、地域住民を優先すべきである。
- ・公民館長に、その地域に関わりのない人がなることはいかがなものか。
- ・市民活動サポートセンターやコミュニティセンターなど公の施設以外に、サロンのような小さな集まりを持つことや、シルバー世代の活用、シャッター通りの活用、大学等との連携による居場所づくりなど、市民ワークショップの意見も参考にしていきたい。

○施策3：多文化共生・世界に開かれた都市づくりについて

〈成果目標〉

- ・外国人の受入体制については、市民アンケートではなく、サービスの客体である外国人に聞いた方が的確ではないか。
- ・市として、市に在住する外国人の方々を積極的に活用したいのか、共に生活できるレベルを目指すのか、どう考えているかで成果指標の設定が変わってくる。

〈施策展開〉

- ・自然や盆栽などの地域資源を守っていくための施策が必要だ。

- ・「世界に開かれた都市」と掲げるのであれば、もう少し世界観について記述してはどうか。また、自然・サッカー・盆栽・漫画・人形などの地域資源のPR不足を感じている。
- ・学校教育における国際理解教育のためには、専門的な知識を持った人がいなければ難しいので、計画に記載するからには、そのための人材などを確保する必要がある。

○「(仮称) 皆さんも取り組んでみませんか」

- ・「(仮称) 皆さんも取り組んでみませんか」を呼びかけているのは、審議会あるいは議会なのか、主体を明確にした方が良い。
- ・自助に加え、ともに助け合う、支え合うという共助の雰囲気を出せたら良い。また、公助として行政も関わり、地域人材の発掘・育成をしなければ、地域活動の活性化はなかなか難しい。
- ・「(仮称) 皆さんも取り組んでみませんか」というタイトル部分に、共助のニュアンスを加えられたら良い。

○分野別計画(素案)全般について(交流・コミュニティ)

- ・人や金などのリソースが減少するなかで、さらに何か施策に取り組むのであれば、別の何かを削らなければならない。
- ・ビジョンの実現に向けた第一歩として、政策の持つ目標や価値規範についての合意、次にその目標に対する手段についての合意、また、それを運営する時の手続きや手順に対する合意、そして、資源の投入量についての合意が必要である。まず価値規範が共有できていなければ、手段などの適切さを判断ができないので、市として達成できたことと、できていないこと、また、できていないならその理由などの分析結果を共有し、誤解の無い判断をしたい。
- ・基本計画と並行して作成する実施計画は、実効性のあるものにしてもらいたい。

○分野別計画(素案)成果目標全般について

- ・施策展開と成果指標が対応するように個数を合わせてはどうか。
- ・各施策の構成について、「施策展開」の後にそれぞれに対応する「成果目標」があるという並び順の方が分かりやすいのではないかと。
- ・指標によっては目標値が小数点第1位まで設定されているものがあるが、目標値設定の共通ルールや考え方があるならば示してもらいたい。
- ・成果目標の設定にあたっては、本会議の学識者など専門家の協力も得て、より良いものをつくってほしい。

その他

事務局から、部会の第3回開催日程について連絡しました。

○5月27日(月)午後3時から 第二別館第1会議室